

北海道日高町門別海岸へ打ち上げられたカメホオズキチョウチン

鈴木 明彦¹

Record of *Terebratalia coreanica* (Brachiopoda : Laqueidae) washed ashore on Monbetsu beach, Hidaka Town, Hokkaido

Akihiko SUZUKI¹

カメホオズキチョウチン *Terebratalia coreanica* (Adams & Reeve) は、有関節綱に属する腕足貝である。本種は東北日本以北に分布し (Hatai 1936 ; 馬渡 1992), 北海道の日本海側 (伊藤 1987) やオホーツク海側 (知床半島浅海域生物相調査グループ 2009) で見られる。2008年9月15日に太平洋側の日高町門別海岸 (図1 ; 北緯42°28′14″, 東経142°4′42″) で、打ち上げられたカメホオズキチョウチンを採集したので報告する。

カメホオズキチョウチン (図2) は、二枚貝のようであるが、非対称の腹殻と背殻からなる。殻は幅の広い卵形で、灰色である。殻表面には平滑で、同心円状の細かい成長線がある。殻頂孔は小さな円形をなす。腹殻の方が膨らみが強く、背殻の中央部には浅い溝がある。殻高は51.8mm, 殻径は47.2mm, 殻幅は32.2mmで、成体と判断される。北海道の太平洋側の日高沿岸でも本種の産出は知られていた (えりも町郷土資料館 2011) が、正確な産地や採集年月日が不明であり、今回が初めての正式な報告である。

引用文献

- えりも町郷土資料館 2011. 海の生き物たち, 43pp. えりも町, えりも.
- Hatai, K. 1936. Recent Brachiopoda of Japan. Bulletin of Biogeographical Society of Japan 6: 63-70.
- 伊藤 潔 1987. 7) 触手動物. 小樽市博物館 (編). 小樽海岸の自然 (海産) 調査報告書. pp. 35-36. 小樽市博物館, 小樽.
- 馬渡峻輔 1992. 触手動物門腕足綱. 西村三郎 (編著). 原色検索日本海岸動物図鑑 I, pp. 221-226. 保育社, 大阪.
- 知床半島浅海域生物相調査グループ 2009. 知床半島沿岸における浅海域生物相調査業務報告書, 72pp. 知床財団, 斜里.
- (Received Mar. 25, 2014; accepted Apr. 25, 2014)



図1 日高町門別海岸の位置. X: 採集地点.

図2 カメホオズキチョウチン. A. 背殻, B. 腹殻. スケールは5 cm.

¹ 〒002-8502 札幌市北区あいの里5-3-1 北海道教育大学札幌校地学研究室

¹ Department of Earth Science, Sapporo Campus, Hokkaido University of Education, 5-3-1 Ainosato, Kita-ku, Sapporo 002-8502, Japan